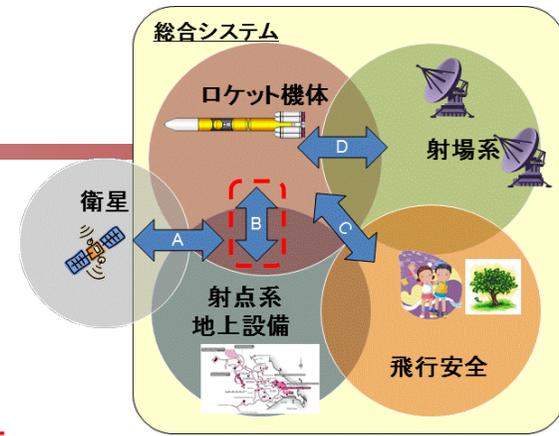


# 7. 新型基幹ロケットのコンセプト

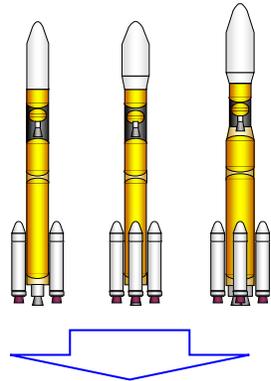


## (B) ロケット機体・射点系地上設備構想

● 衛星サービス要求に加え、安全要求・維持コスト低減や固体ロケット維持発展を盛り込み、全ての要求をバランスよく満たす設備・機体の一体システムを実現

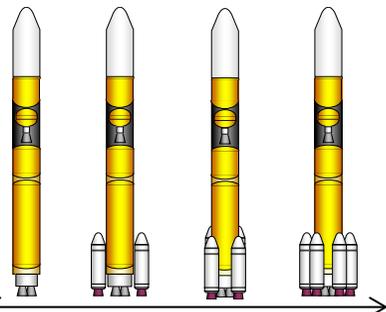
- ① 中型固体ブースタの装着により、**多様なニーズに柔軟に対応できる機体設計**
- ② 飛行安全、地上安全、デブリなどの安全要求については、国際動向にも配慮しつつ、機体や地上設備の設計に反映する。
- ③ 横置き整備や統合集約化などにより、**維持コストの大幅低減が可能な機体と地上設備とする。**
- ④ 中型固体ブースタの適用による、**固体ロケットの技術基盤・産業基盤の維持**

### (現行システム)

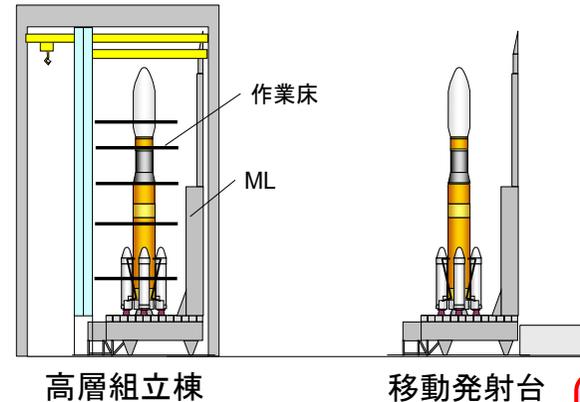


① 幅広いニーズに柔軟に対応

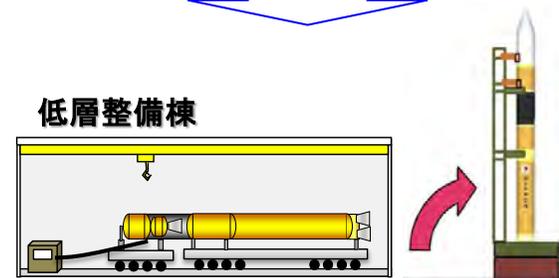
### (新型基幹)



ブースタ装着数により幅広いニーズに柔軟に対応



③ 維持コストの大幅低減



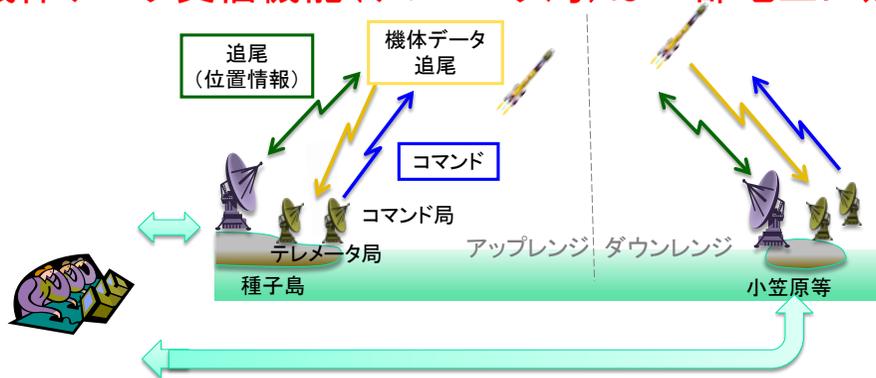
# 7. 新型基幹ロケットのコンセプト

## (C) 飛行安全システム構想

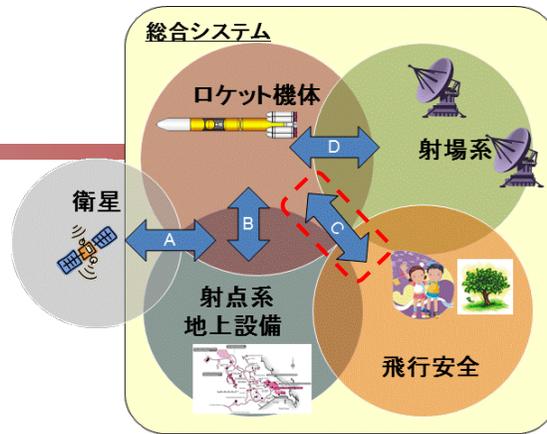
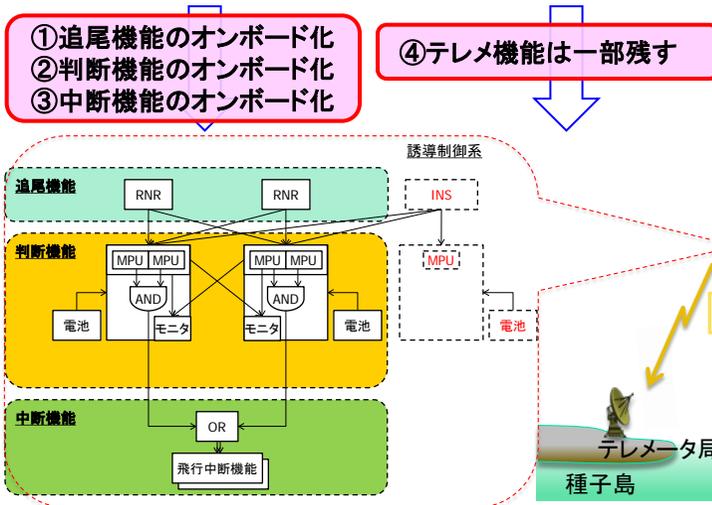
●現状の地上ベースで実施する飛行安全の機能配分を見直し、安全性や自在性を確保しつつコスト低減と打上げ能力向上(自在性)を達成する

- ① 追尾機能をオンボード化し、**地上レーダシステムを廃局**する
- ② 判断機能(飛行中断の)をオンボード化し、**地上運用設備をなくす**
- ③ 飛行中断機能をオンボード化し、**地上コマンド局を廃局**する
- ④ ただし、失敗に備え、**機体データ受信機能(テレメータ局)は一部地上に残す**

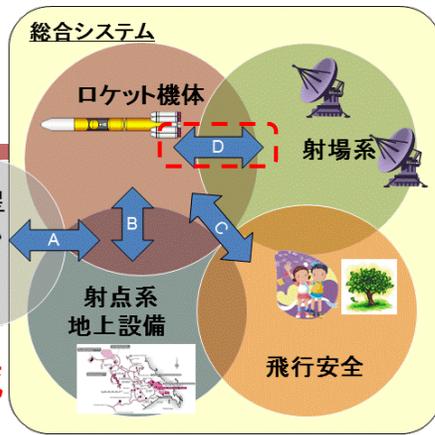
(現行システム)



(新型基幹)



# 7. 新型基幹ロケットのコンセプト

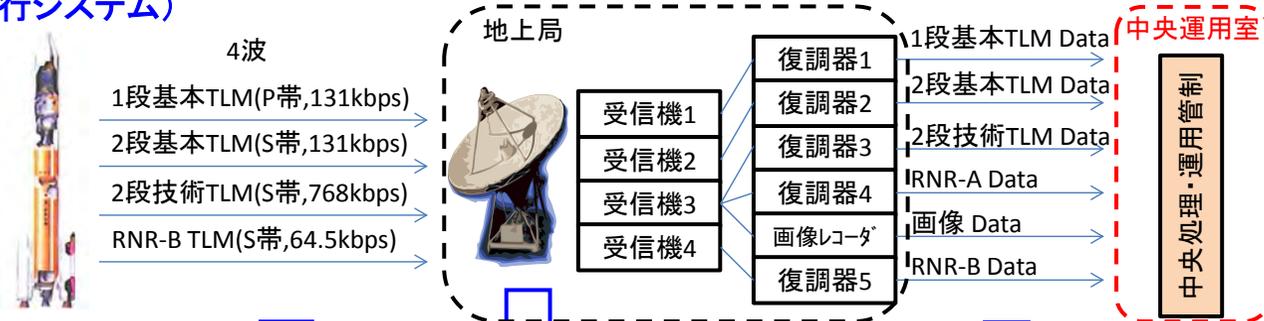


## (D) 射場系システム構想

●機能の統廃合や地上と機体間の性能バランスを見直し、  
 打上げコスト・維持更新コストを抜本的に低減する

- ① データ・電波を統廃合(4波6種を2波に)し、**地上装置及び搭載コンポーネントを削減**
- ② 周波数帯の統合に加え搭載と地上のバランスを見直すことで、地上局アンテナを小型化し、**地上設備をスリム化する。**
- ③ 複数追跡局のリモート制御、統合運用を採用し、**運用人員・運用コストを削減**

(現行システム)



(次期基幹)

